

2017年2月1日

徳島すぎを活用したトイレブースを 徳島県へ寄贈しました

三和シャッター工業株式会社（本社：東京都板橋区／社長：長野敏文）は、徳島すぎに藍染を施した扉を組み込んだトイレブース7ブースを徳島県へ寄贈しました。

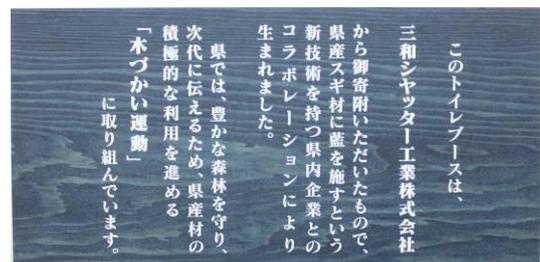
今回寄贈したトイレブースは、徳島県の伝統産業である藍染を木材に施す技術を持つ、地元企業である大利木材株式会社（本社：徳島県徳島市）との共同開発で生まれました。このトイレブースは徳島県庁舎1階西側の男女トイレに設置され、多くの来庁者に使用されます。徳島すぎの美しい木目と深みのある藍色は落ち着いた雰囲気を演出し、表面のクリアー塗装によって耐水性や耐久性を高めています。

徳島県は豊かな森林を守り次世代に伝えるために県産材の利用をより一層推進する「木づかい運動」に取り組んでいます。このたび当社は来庁者の方々に県産材の新たな活用方法を知ってもらい、県産材の積極的な利用に繋がっていただきたいという思いから寄贈しました。

三和シャッター工業をはじめとする三和グループは、一企業市民として今後も地域に寄り添いながら社会貢献活動に取り組み、社会に安全・安心・快適を提供してまいります。



徳島県庁舎1階西側女性用トイレ



トイレブースに取り付けられているプレート